

県民の期待を背負いグランプリ大賞を目指す

第58回郷土民謡民舞青少年みんよう全国大会
民謡チャンピオンの部 優勝

日戸 楓乃 さん

ひと・かの 11歳 平笠小6年



平成20年生まれ。日本郷土民謡協会岩手中央支部に所属。小2年時に青少年みんよう全国大会へ出場し、小学生低学年の部で準優勝を獲得(広報はちまんたいNo.225で紹介)。数々の民謡大会で入賞。市内外のイベント、介護保険施設への慰問などで歌声を披露している。

8月10日に東京都で開かれた郷土民謡民舞青少年みんよう全国大会に出場した日戸楓乃さん。小学生高学年の部で準優勝し、続く低学年と高学年の部の3位までが出場して競う民謡チャンピオンの部では、0・1点差の接戦を制し優勝に輝いた。昨年度の同大会で民謡チャンピオンの部進出を逃し、涙をのんだ思いから「やっと、念願だった大会で優勝することができてうれしい」と喜びをかみしめた。民謡を始めたのは5歳の頃から。温泉施設で開かれた親戚が出演する民謡ショーを母と一緒に見に行ったとき「私も民謡を歌いたい」と話したことがきっかけ。以来、市内で活動する西根民謡好成会で唄を覚え、盛岡八幡宮で活動する岩手中央支部の民謡教室に週一度通い、稽古を積み重ねている。

小学校への送り迎えをしてもらう車内や農作業をしている小屋で母に聞いてもらい、練習するのが日課。民謡教室で師匠から指導があった課題に、母と二人三脚で取り組み、日本一になることを目指してきた。

12月6日(金)から8日(日)まで、埼玉県で開かれる第59回郷土民謡民舞全国大会に出場する。楓乃さんは「岩手県代表として出場するので、重みのある大会。期待に応えられるよう精一杯がんばりたい」と力を込めた。



民謡ショーで歌声を披露(9月14日、盛岡八幡宮例大祭)

【広告】

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ3,000万円
(1等2千万円・前後賞各5百万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

9月24日 2種類同時発売! 発売期間 9/24(火)~10/18(金)
抽せん日 10/30(金)

公益財団法人岩手県市町村振興協会 各1枚 300円

■編集後記

▽取材でもプライベートでも子どもたちと接する機会が多いのですが、好奇心や体力に驚かされます。これから秋のイベントがめじろ押し。何が起きるか楽しみです。(左)

▽防災訓練を取材。防災物品展示コーナーでは非常食や防災ラジオが紹介されていました。いつ起こるか分からない災害。我が家では防災グッズを購入し備えています。(右)

▽市内では八幡平ヒルクライムや小学校陸上競技会などが開かれ、家ではラグビーW杯の観戦とスポーツの秋満喫中です。次は食に関するイベント取材へとスケジュールを調整し、秋を楽しみ尽くします。(多)